

# 安定ヨウ素剤事前配布事業3年間の分析報告書

[平成 27 年度～平成 29 年度実施]



【平成 28 年 3 月 19 日 篠山市民センターでの説明会の様子】



篠山市市民生活部市民安全課

— も く じ —

1	事業概要	2
2	受領者の属性分布	3
	(1) 地区別受領率及び受領者数	4
	(2) 年齢別受領率及び受領者数	6
3	アンケート調査結果	8
4	本事業のまとめと事業展開方針	9
5	巻末まとめ	10
	(1) これまでの事業履歴	10
	(2) 投資（予算、決算等）の履歴	13

※この集計に使用した、市の人口は平成 29 年 9 月 30 日現在の数値を使用しています。

## 1 事業概要

### (1)目的

兵庫県の放射性物質拡散シミュレーション（平成 26 年 4 月）では、福井県の原子力発電所で事故が発生した場合、I A E A（国際原子力機関）の定める安定ヨウ素剤の服用の目安である放射線被ばくにおける 1 歳児の甲状腺等価線量 50 ミリシーベルトを上回る 100.1 ミリシーベルトとなる可能性が示されました。

この結果を受けて、もしもの原子力災害に備え、原子力災害が発生した場合、放出される放射性ヨウ素を吸い込むと、のどにある甲状腺に取り込まれ、将来「甲状腺がん」などを発症するおそれがあり、特に成長期にある子どもや若年層に影響が大きいと言われていることから、甲状腺の内部被ばくに効果のある安定ヨウ素剤の事前配布に取り組みました。

### (2)概要

平成 24 年 3 月 24 日付の神戸新聞において、京都府発表の S P E E D I で「高浜原発での事故想定では 50 ミリシーベルトから 500 ミリシーベルトに達した」と掲載されました。この記事を受けて、市役所内部で原子力災害対策の検討の必要性が議論され、平成 24 年 10 月 24 日に専門家や公募委員もご参加いただく中で、篠山市原子力災害対策検討委員会を立ち上げ、議論や検討をいただきました。平成 27 年 6 月 17 日には「原子力災害にむけての提言書」を提出いただきました。提言のひとつに「市は被ばく防護のための安定ヨウ素剤事前配布をすみやかに行ってください。」とありました。

このことを受けて、平成 26 年度には、安定ヨウ素剤の事前配布に向け、市民に理解を深めてもらうため広報紙への原子力災害に関する啓発記事の掲載（3 回）と各自治会に市職員を派遣しての学習会（227 自治会、約 4,300 人が参加）や小学校・中学校 P T A 会議への出前講座（23 回、約 650 人が参加）を開催しました。また、避難誘導時に重要な役割を担っていただく可能性のある消防団員に対して、平成 25 年度から平成 28 年度までの 4 年間消防団としての原子力災害に対する防災研修に取り組みました。

あわせて、事前配布への参加に向けた周知として、広報紙とホームページに記事を掲載するとともにリーフレットの全戸配布や市内保育園・幼稚園・小学校・中学校への配布、自治会長への周知依頼文書、18 歳以下の子どもがいる世帯へダイレクトメールを発送し安定ヨウ素剤の必要性の周知に努めました。

そのような事前啓発活動の後、平成 27 年度は 15 会場 30 回（1 日 2 回）、平成 28 年度は 8 会場 16 回（1 日 2 回）、平成 29 年度は 7 会場 14 回（1 日 2 回）の安定ヨウ素剤事前配布説明会を開催し、安定ヨウ素剤を 13,154 人の方に配布しました。

安定ヨウ素剤保有者数（平成 29 年 12 月 15 日現在）

（単位：人）

区分	配布者数	更新による増減	返却数	保有者数	受領率	人口 (H29.9.30)
3歳未満 (ゼリー状)	287			287	32.7%	877
3歳以上13歳未満 (1丸)	2,682	△ 303	13	2,366	70.9%	3,338
13歳以上 (2丸)	10,283	303	85	10,501	27.6%	38,030
計	13,252		98	13,154	31.1%	42,245

※配布不適格者は3年間で10人おられた。

## 2 受領者の属性分布

### 【地区別（19地区）】

篠山地区（篠山、八上、畑、城北、岡野）

城東地区（日置、後川、雲部）

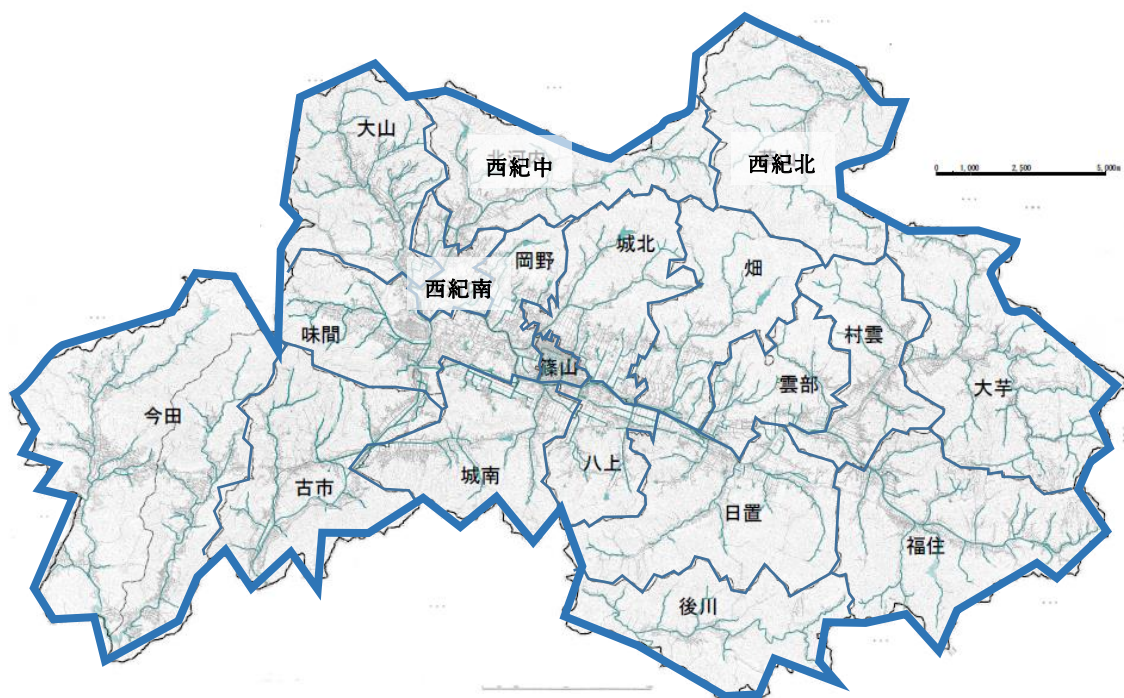
多紀地区（福住、村雲、大芋）

西紀地区（西紀南、西紀中、西紀北）

丹南地区（大山、味間、城南、古市）

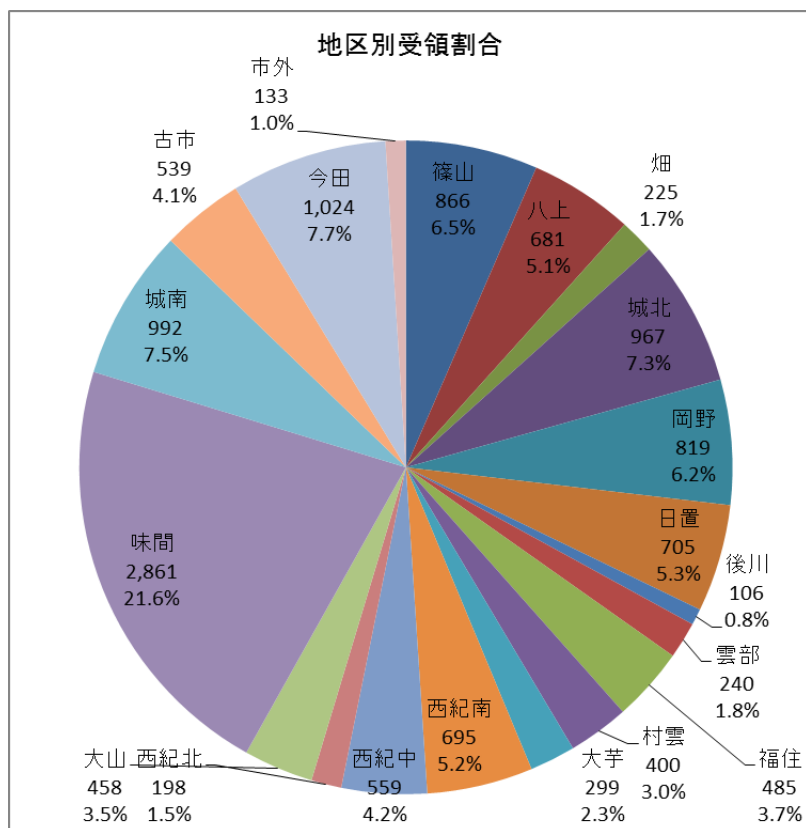
今田地区（今田）

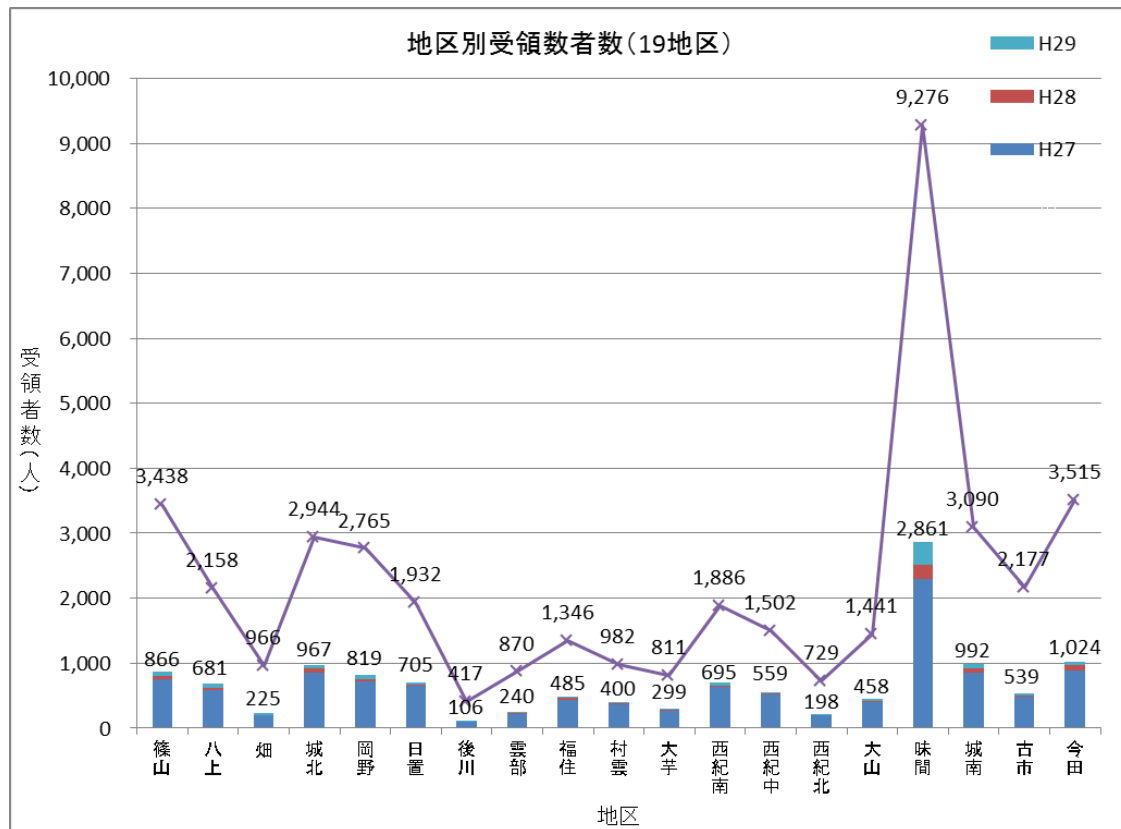
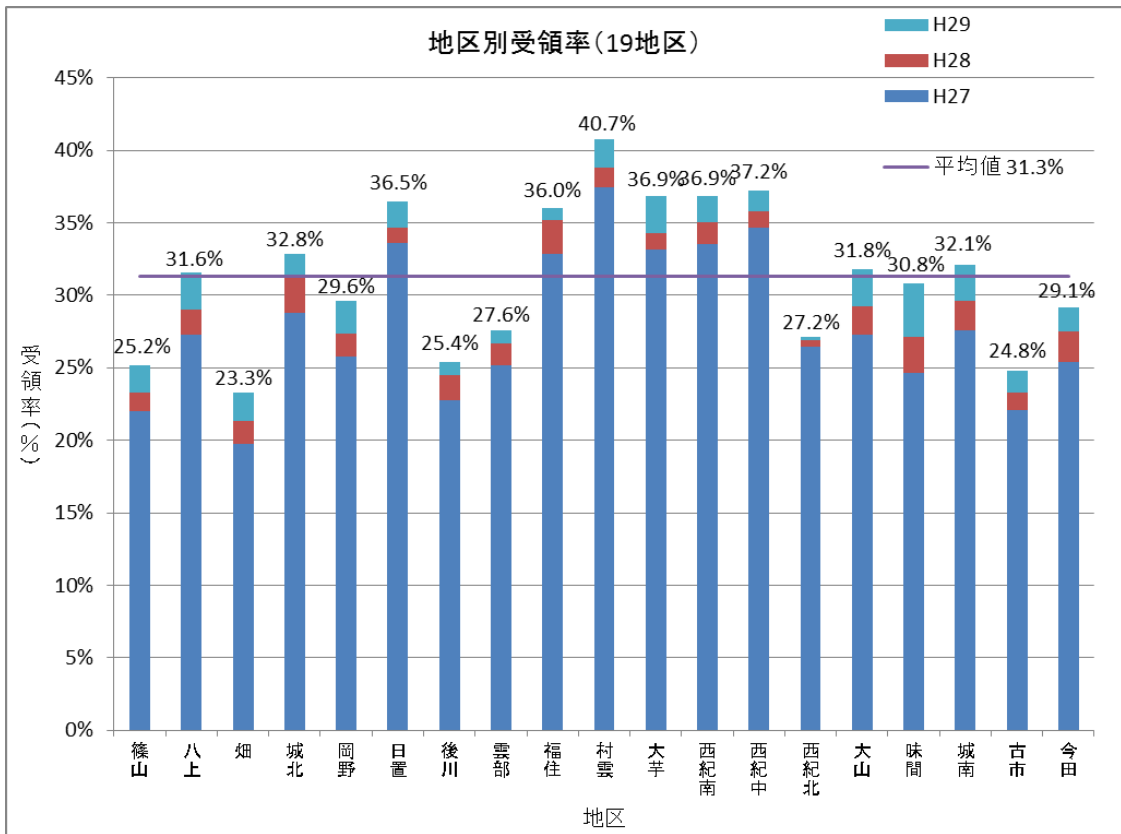
【人口は、平成29年9月30日】



(1)地区別受領率及び受領者

地区名	人口 (H29.9.30)	受領者数(人)				受領率(%)			
		H27	H28	H29	計	H27	H28	H29	計
篠山	3,438	756	45	65	866	22.0%	1.3%	1.9%	25.2%
八上	2,158	588	38	55	681	27.2%	1.8%	2.5%	31.6%
畑	966	191	15	19	225	19.8%	1.6%	2.0%	23.3%
城北	2,944	848	70	49	967	28.8%	2.4%	1.7%	32.8%
岡野	2,765	712	44	63	819	25.8%	1.6%	2.3%	29.6%
日置	1,932	649	21	35	705	33.6%	1.1%	1.8%	36.5%
後川	417	95	7	4	106	22.8%	1.7%	1.0%	25.4%
雲部	870	219	13	8	240	25.2%	1.5%	0.9%	27.6%
福住	1,346	442	32	11	485	32.8%	2.4%	0.8%	36.0%
村雲	982	368	13	19	400	37.5%	1.3%	1.9%	40.7%
大芋	811	269	9	21	299	33.2%	1.1%	2.6%	36.9%
西紀南	1,886	632	28	35	695	33.5%	1.5%	1.9%	36.9%
西紀中	1,502	521	17	21	559	34.7%	1.1%	1.4%	37.2%
西紀北	729	193	3	2	198	26.5%	0.4%	0.3%	27.2%
大山	1,441	393	28	37	458	27.3%	1.9%	2.6%	31.8%
味間	9,276	2,288	229	344	2,861	24.7%	2.5%	3.7%	30.8%
城南	3,090	853	63	76	992	27.6%	2.0%	2.5%	32.1%
古市	2,177	481	26	32	539	22.1%	1.2%	1.5%	24.8%
今田	3,515	893	75	56	1,024	25.4%	2.1%	1.6%	29.1%
市外		116	15	2	133				
計	42,245	11,507	791	954	13,252	27.2%	1.9%	2.3%	31.4%

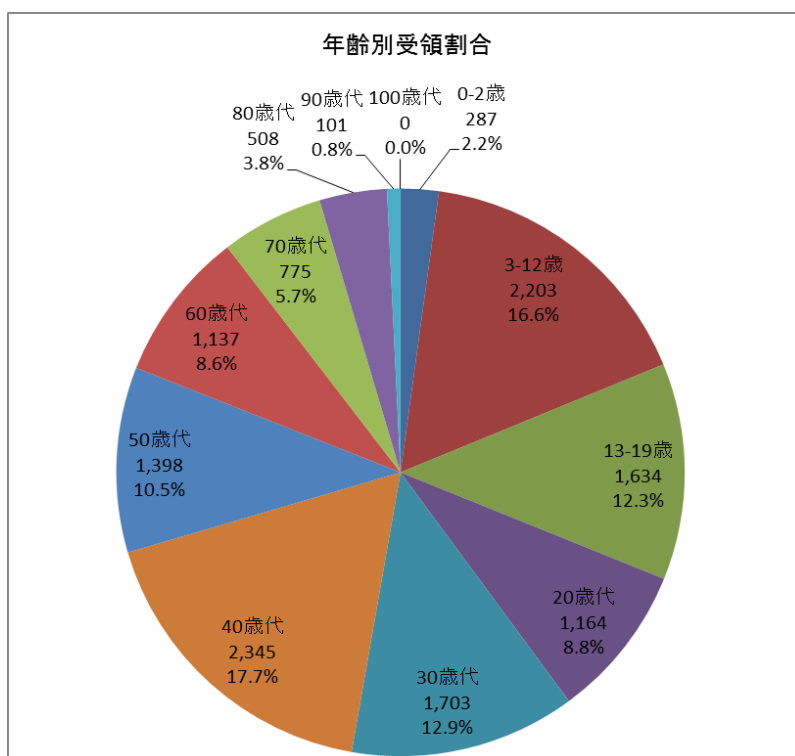


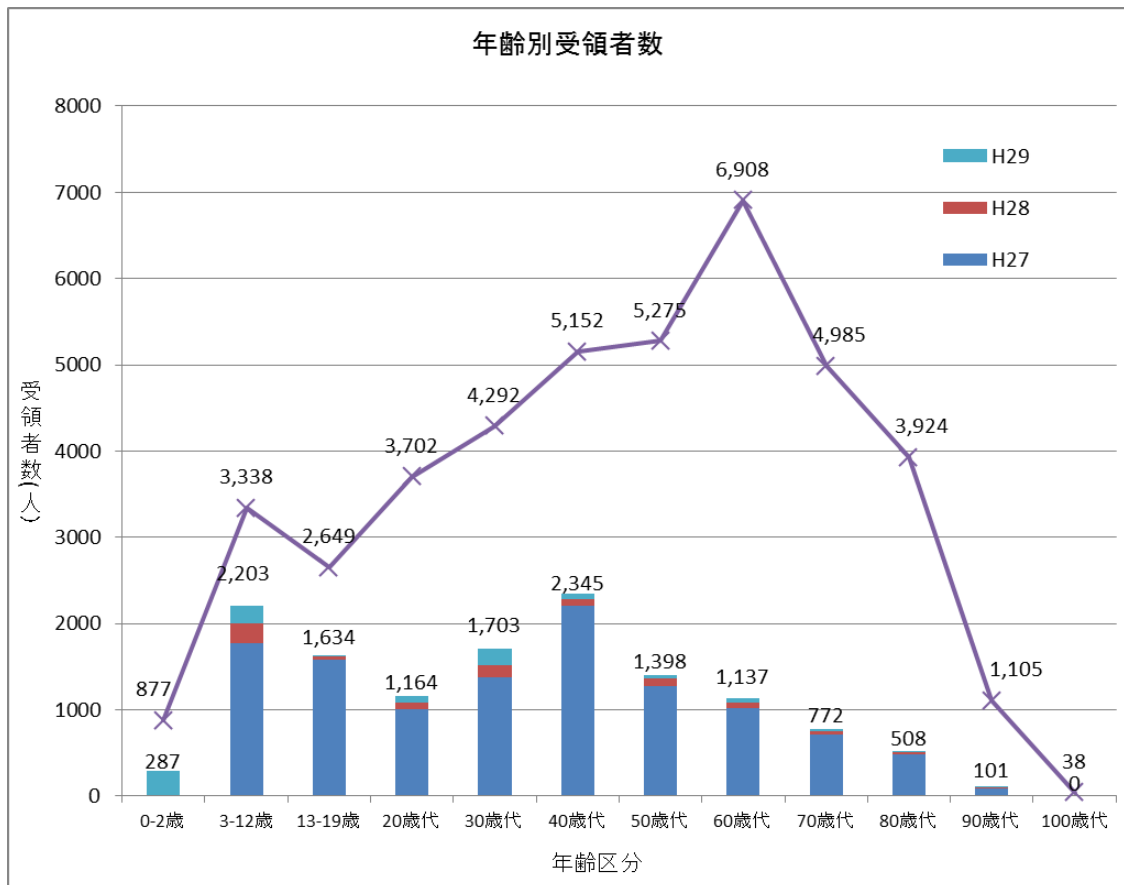
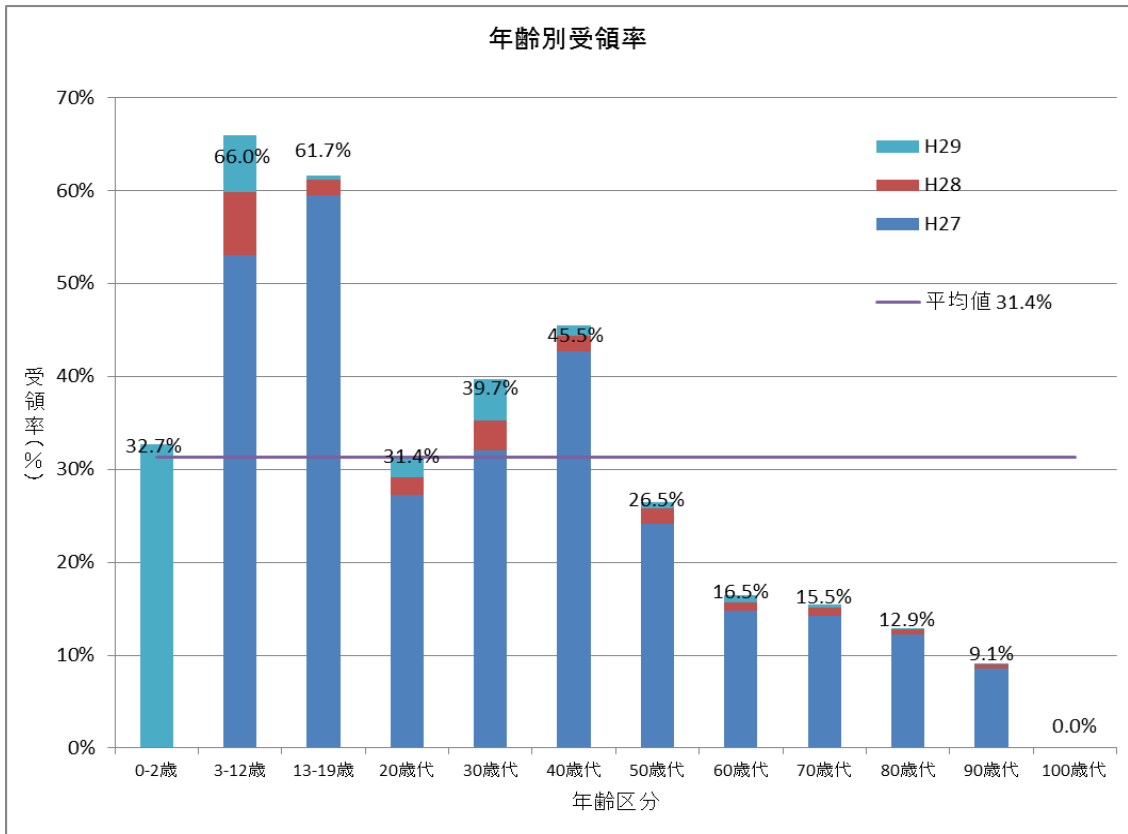


(2) 年齢別受領率及び受領者数

年代	人口 (H29.9.30)	受領者数(人)				受領率(%)			
		H27	H28	H29	計	H27	H28	H29	計
0-2歳	877			287	287			32.7%	32.7%
3-12歳	3,338	1,772	228	203	2,203	53.1%	6.8%	6.1%	66.0%
13-19歳	2,649	1,576	44	14	1,634	59.5%	1.7%	0.5%	61.7%
20歳代	3,702	1,008	72	84	1,164	27.2%	1.9%	2.3%	31.4%
30歳代	4,292	1,377	135	191	1,703	32.1%	3.1%	4.5%	39.7%
40歳代	5,152	2,200	86	59	2,345	42.7%	1.7%	1.1%	45.5%
50歳代	5,275	1,271	88	39	1,398	24.1%	1.7%	0.7%	26.5%
60歳代	6,908	1,019	67	51	1,137	14.8%	1.0%	0.7%	16.5%
70歳代	4,985	709	44	19	772	14.2%	0.9%	0.4%	15.5%
80歳代	3,924	481	22	5	508	12.3%	0.6%	0.1%	12.9%
90歳代	1,105	94	5	2	101	8.5%	0.5%	0.2%	9.1%
100歳代	38	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
計	42,245	11,507	791	954	13,252	27.2%	1.9%	2.3%	31.4%

※平成 29 年度からは 3 歳未満（0-2 歳）の乳幼児用ゼリー状薬剤を事前配布







### 3 安定ヨウ素剤の保管状況に関するアンケート調査結果

#### (1) 目的

もしもの原子力災害に備え、原子力災害が発生した場合、放出される放射性ヨウ素を吸い込むとのどにある甲状腺に取り込まれ将来「甲状腺がん」などを発症するおそれがあることから、甲状腺の内部被ばくを抑える効果がある安定ヨウ素剤の事前配布に取り組んできました。

事前配布に対する市民の意識、関心は高く、平成 28 年 1 月から平成 28 年 12 月にかけての配布に対して、全市民 42,696 人（平成 28 年 9 月末）の内、これまでに、3 歳以上 13 歳未満の 2,462 人（対象年齢層の約 74%）、市民全体では 12,253 人（約 30%）の方が受領されました。

安定ヨウ素剤を受け取られた市民が適切に保管されているか、また誤って服用されていないか、そして受領後に意識の変化があったかなどについて調査し、これまでの事業の検証と改善のためアンケート調査を実施しました。

#### (2) 調査結果

保管状況については、99.8%が保管しているとの回答でしたが、「紛失したあるいは分からない」と無回答があわせて 5 件ありました。

誤飲については、すべての家庭でありませんでした。

気持ちの変化については、「配布前に比べて安心した」が 61.3%、「不安になった」が 6.7%でした。残りの意見としては「特に変化なし」15.8%などとなりました。

避難先の検討状況については、「すでに決めている」は 22.6%、「検討中（まだ決めていない）」が 66.4%、「決める予定はない」が 8.2%などとなりました。

#### (3) まとめ

誤飲はすべての家庭でなく、保管状況については適切に保管されているとの調査結果でありました。

#### (4) ゼリー剤、1 丸、2 丸の受領状況（返却者 98 人を除く）

ゼリー剤（3 歳未満） 287 人（平成 29 年 12 月 10 日現在）

1 丸（3 歳以上 13 歳未満） 2,366 人（平成 29 年 12 月 10 日現在）

2 丸（13 歳以上） 10,501 人（平成 29 年 12 月 10 日現在）

#### (5) 更新状況（13 歳到達者）

平成 28 年度該当者 239 人中 158 人が更新（更新率 66.1%）

平成 29 年度該当者 249 人中 145 人が更新（更新率 58.2%）

## 4 本事業のまとめと今後の事業展開方針

### (1)まとめ

平成 27 年度から取り組んだこの事業は 3 年が経過し、3 歳未満では約 3 割、3 歳以上 13 歳以下では約 8 割の市民に配布することができ、子どもを持つ世代の関心の高さを感じました。市民全体では約 3 割の市民に配布することができました。

また、3 歳未満の乳幼児が服用できるゼリー状薬剤が、平成 28 年度に医薬品メーカーが開発し、原発の半径 30 キロ圏に入る自治体に順次配備を始め、原発 5 キロ圏の住民への事前配布も始めました。平成 29 年度からは原発の半径 30 キロを超える自治体も入手が可能になり、篠山市では平成 29 年度からゼリー状薬剤の事前配布を始めました。

くわえて、安定ヨウ素剤の事前配布だけでなく原子力災害対策の市民向けガイドブックを作成する必要があると市民から声が寄せられ、平成 28 年度から篠山市原子力災害対策検討委員会において内容を慎重に議論され、災害に対する意識を高めてもらうために、原子力災害に関する知識や対処法について、イラストを多用して分かりやすく解説するハンドブックを作成し、平成 29 年 7 月に市内全戸配布を行いました。

### (2)今後の事業展開方針

平成 29 年度からは 3 歳未満の乳幼児用ゼリー状薬剤も入手でき、ようやく全市民を対象にして希望者に事前配布が可能となりました。今後は福井県内にある原子力発電所が再稼働していく中で、万が一原子力災害が発生した場合、特に効果が高いとされる成長期にある子どもや若年層を中心に放射性ヨウ素から甲状腺の内部被ばくを防ぐために、安定ヨウ素剤の事前配布を継続して取り組む必要があります。

なお、約 3 割の市民の方が受領されていますが、未受領者に対してはきめ細やかに受領の必要性を周知し、受領率を上げる必要もあります。

また、安定ヨウ素剤管理台帳を適正管理して、受領者の死亡や転出による安定ヨウ素剤の回収や服用丸剤数の変更等による更新を確実にを行うための周知が必要です。

## 巻末まとめ

### 1 これまでの事業履歴

#### (1) 篠山市原子力災害対策検討委員会会議概要

月 日	会 議 内 容
平成 24 年 10 月 24 日	第 1 回篠山市原子力災害対策検討委員会 ・ 委嘱状交付 ・ 意見交換
12 月 12 日	第 2 回篠山市原子力災害対策検討委員会 ・ 早急に取り組むべき対策の検討
平成 25 年 2 月 21 日	第 3 回篠山市原子力災害対策検討委員会 ・ 早急に取り組むべき対策の検討
3 月 22 日	第 4 回篠山市原子力災害対策検討委員会 ・ 市町防災計画策定マニュアルの検討
3 月 27 日	専門部会全体会・第 1 回事前・応急対策部会 ・ 部会員の振り分け ・ 部会長の決定
4 月 18 日	第 5 回篠山市原子力災害対策検討委員会 ・ 専門部会の設置
4 月 18 日	第 2 回事前対策部会 ・ 住民への意識啓発について ・ 防災訓練について
4 月 18 日	第 2 回応急対策部会 ・ 医療、安定ヨウ素剤について
4 月 25 日	第 3 回事前対策部会 ・ 住民への意識啓発について ・ 防災訓練について
4 月 25 日	第 3 回応急対策部会 ・ 安定ヨウ素剤の配布について
5 月 30 日	第 4 回事前対策部会 ・ 原子力災害対策計画策定マニュアルの検討
5 月 30 日	第 4 回応急対策部会 ・ 原子力災害対策計画策定マニュアルの検討
6 月 14 日	第 5 回事前対策部会 ・ 原子力災害対策計画策定マニュアルの検討
7 月 9 日	第 6 回事前対策部会 ・ 原子力災害対策計画策定マニュアルの検討
7 月 24 日	第 5 回応急対策部会 ・ 安定ヨウ素剤の配布について
8 月 20 日	第 7 回事前対策部会 ・ 原子力防災フォーラム、学習会について
10 月 30 日	第 6 回応急対策部会

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安定ヨウ素剤の配布について</li> </ul>
平成 26 年 2 月 21 日	<p>第 6 回篠山市原子力災害対策検討委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原子力災害対策計画にむけての提言について</li> <li>・安定ヨウ素剤の備蓄計画について</li> </ul>
6 月 25 日	<p>第 7 回篠山市原子力災害対策検討委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安定ヨウ素剤の緊急時および事前配布方法について</li> <li>・原子力災害対策計画にむけての提言について</li> </ul>
12 月 3 日	<p>第 8 回篠山市原子力災害対策検討委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委嘱状交付</li> <li>・自治会での原子力防災学習の取り組み状況について</li> <li>・原子力災害対策計画にむけての提言について</li> </ul>
平成 27 年 1 月 21 日	<p>第 9 回篠山市原子力災害対策検討委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高浜町安定ヨウ素剤事前配布視察報告</li> <li>・原子力災害対策計画にむけての提言について</li> </ul>
2 月 25 日	<p>第 1 0 回篠山市原子力災害対策検討委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・神戸新聞（2 月 19 日）の記事について</li> <li>・原子力災害対策計画にむけての提言について</li> </ul>
6 月 3 日	<p>第 1 1 回篠山市原子力災害対策検討委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原子力災害対策計画にむけての提言について</li> </ul>
8 月 7 日	<p>第 1 2 回篠山市原子力災害対策検討委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安定ヨウ素剤事前配布について</li> </ul>
10 月 14 日	<p>第 1 3 回篠山市原子力災害対策検討委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安定ヨウ素剤事前配布について</li> </ul>
12 月 11 日	<p>第 1 4 回篠山市原子力災害対策検討委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安定ヨウ素剤事前配布について</li> </ul>
平成 28 年 4 月 26 日	<p>第 1 5 回篠山市原子力災害対策検討委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の安定ヨウ素剤配布事業について</li> <li>・原子力災害対策ガイドブックの作成について</li> </ul>
7 月 29 日	<p>第 1 6 回篠山市原子力災害対策検討委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原子力災害対策ガイドブックの作成について</li> </ul>
10 月 5 日	<p>第 1 7 回篠山市原子力災害対策検討委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安定ヨウ素剤の保管に関するアンケート調査の実施について</li> <li>・原子力災害対策ガイドブックの作成について</li> </ul>
12 月 21 日	<p>第 1 8 回篠山市原子力災害対策検討委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原子力災害対策ガイドブックの作成について</li> </ul>

平成 29 年 5 月 17 日	第 19 回篠山市原子力災害対策検討委員会 ・原子力災害対策ガイドブックの作成について ・3 歳未満時用ゼリー状安定ヨウ素剤の購入について ・平成 29 年度安定ヨウ素剤事前配布の日程について
---------------------	---

## (2) 説明会等の履歴

- ア 篠山市消防団研修（原子力防災講演会）  
平成 25 年 8 月 31 日 篠山市民センター 200 人参加  
平成 26 年 8 月 30 日 四季の森生涯学習センター 311 人参加  
平成 27 年 9 月 6 日 篠山市民センター 348 人参加  
平成 28 年 9 月 3 日 篠山市民センター 319 人参加
- イ 住民向け学習会（自主学習として原子力防災 DVD 視聴）  
平成 26 年 10 月から平成 27 年 3 月までの取り組み  
227 自治会 約 4,300 人参加
- ウ P T A 向け学習会（役員等を対象とした原子力防災出前講座）  
平成 27 年 9 月から平成 28 年 1 月までの取り組み  
23 回 約 650 人参加
- エ 市職員向け研修会  
平成 25 年 6 月 25 日 篠山市民センター  
全職員対象 92 人参加（職員防災研修）  
平成 25 年 8 月 1 日 丹南健康福祉センター  
管理職・職場学習推進員対象 88 人参加（職場学習会事前研修）  
平成 26 年 10 月 17 日、20 日、22 日、27 日 篠山市民センター  
全職員対象 412 人参加（職員防災研修）

## (3) 各種事業の履歴

- ア 事前配布  
平成 28 年 1 月 31 日から 3 月 26 日 15 日間（1 日 2 回延べ 30 回）  
受領者：11,507 人【内訳】13 歳以上 9,272 人  
3 歳以上 13 歳未満 2,235 人  
平成 28 年 11 月 5 日から 12 月 11 日 8 日間（1 日 2 回延べ 16 回）  
受領者：791 人【内訳】13 歳以上 556 人  
3 歳以上 13 歳未満 235 人  
平成 29 年 10 月 22 日から 12 月 10 日 7 日間（1 日 2 回延べ 14 回）  
受領者：954 人【内訳】13 歳以上 464 人  
3 歳以上 13 歳未満 203 人  
3 歳未満 287 人

イ アンケート調査（平成 29 年 3 月 17 日から 3 月 31 日）

配布数：3,527 件 有効回収数：2,001 件 有効回収率：56.7%

ウ 原子力災害対策ハンドブック

平成 29 年 7 月 21 日 2 万部発行（経費：1,873,800 円）

## 2 投資（予算、決算等）の履歴

平成 27 年度予算額 5,920 千円 決算額 5,346,677 円

区分	決算額	内 容
報償費	3,472,000	事前研修会 2 回講師謝礼 50,000 事前研修 3 回実施（医師@12,000×24 名、薬剤師@6,000×12 名） 1,852,000 説明会（診療所医師@20,000×20 名、医師@45,000×40 名、薬剤師@12,000×71 名） 1,560,000 手話通訳者 1 回 10,000
消耗品費	1,154,441	安定ヨウ素剤（40,000 丸） 218,160 プラツボ（青 10,300 個、桃 2,800 個） 396,144 救急医療ケース（4,000 個） 410,400 事務用品（コピー用紙、上質紙等） 129,737
燃料費	19,130	ストーブ用灯油代
食糧費	97,870	医師・薬剤師（お茶・弁当代）
印刷製本費	250,560	リーフレット印刷（41,000 部）
郵便料	352,676	ダイレクトメール発送（3 歳以上 18 歳未満）3,400 件

平成 28 年度予算額 2,739 千円 決算額 2,360,159 円

区分	決算額	内 容
賃金	260,000	日々雇用職員（問診票兼受領書データ入力事務）
報償費	928,000	説明会（診療所医師@20,000×8 名、医師@45,000×8 名、薬剤師@12,000×34 名）
費用弁償	4,776	日々雇用職員通勤手当
消耗品費	438,706	安定ヨウ素剤（1,000 丸） 54,875 プラツボ（青 3,500 個、桃 1,000 個） 136,080 救急医療ケース（1,680 個） 186,883 事務用品（コピー用紙、上質紙、宛名ラベル等） 60,868
食糧費	30,369	医師・薬剤師（お茶・弁当代）
印刷製本費	170,964	リーフレット印刷（21,500 部）
郵便料	527,344	ダイレクトメール発送、アンケート郵送

平成 29 年度予算額 1,935 千円

区分	予算額	内 容
報償費	972,000	説明会(医師@45,000×12人、薬剤師@12,000×36人)
消耗品費	506,000	安定ヨウ素剤(2,000丸) 12,960 安定ヨウ素ゼリー剤(1,000包) 394,200 プラツボ(1,000個) 32,400 救急医療ケース(350個) 37,800 事務用品(コピー用紙、上質紙等) 26,946
食糧費	45,000	医師・薬剤師(お茶・弁当代)
印刷製本費	220,000	リーフレット印刷
郵便料	192,000	ダイレクトメール発送(0歳～2歳、3歳・13歳到達者)

説明会当日出役職員数(1日2回)

平成 27 年度(15日間) 一般職員 延べ 530 人 保健師・看護師 延べ 100 人  
 平成 28 年度(8日間) 一般職員 延べ 236 人 保健師・看護師 延べ 40 人  
 平成 29 年度(7日間) 一般職員 延べ 202 人 保健師・看護師 延べ 34 人

1回あたり出役職員数(15名～20名)

【内訳】 駐車場・場内案内係 5名～7名  
 受付・配布係 8名～10名  
 保健師・看護師 2名～3名